

市民共同おひさまプロジェクトレター

No.9

《編集・発行》かわさき市民共同おひさまプロジェクト 2012年7月1日

自然エネルギーと東日本大震災～被災者を支えた分散型エネルギーシステム

おひさまプロジェクト2号機設置1周年記念イベントとして、2月27日（月）、川崎市総合福祉センター大会議室にて開催しました。1部はパネルディスカッション「東日本大震災・つながりぬくもりプロジェクト」、2部は「太陽熱温水器 in 川崎フロンターレ」の報告を行いました。72名の参加でした。

まず、「東日本大震災 つながり・ぬくもりプロジェクト」について、事務局長の竹村英明さんより説明がありました。被災地を「自然エネルギー」で支援することを目的として太陽光、太陽熱、バイオマスによる3種類の支援を柱に、被災地に電気、お湯、お風呂を届けています。支援実績は、太陽光約200カ所、太陽熱約40カ所、バイオマス約7カ所。寄付総額64,567,981万円（助成金15,528,440円を含む）でした。

●支援者からは、岡安直比さん「WWF（世界自然保護基金）ジャパン・東日本大震災 暮らしと自然の復興プロジェクト」担当。被災地では、WWFジャパンが支援する沿岸域の影響調査や過密養殖解消などの持続可能な漁業復興支援の中で、「つながり・ぬくもりプロジェクト」を通じた漁協への自然エネルギー支援を進めました。



●被災者からは、畑山東吾さん。ご夫婦での参加でした。若いころから造船業、3.11の震災・津波で所有していた船3艘が流されました。自宅2階はかろうじて住めたことから従業員と共に避難生活を送っていたところへ、「つながり・ぬくもりプロジェクト」からの太陽熱温水器の寄贈を受けました。以後、設置チームとしても活動をおこない、石巻に4基、東松島市に4基設置を行いました。



●会場での募金は、25,357円になり、その場で寄付。ぐるっ都の三井元子さんも駆けつけて報告に加わりました。自然エネルギーのすばらしさは人と人をつなぐことだ、と感じる会でした。（岩本孝子）

低炭素杯 2012 に出場しました

かわさき市民共同おひさまプロジェクトは、低炭素杯2012（ストップ温暖化大賞～低炭素地域づくり全国フォーラム）の最終出演者に（応募は108団体中の41団体）に選ばれました。2月18日に東京ビッグサイト国際会議場でみんな揃ってプレゼンテーションを行いました。入選はできませんでしたが、全国で低炭素を目指して活動している団体、企業の方々との交流ができました。

私たちの発表は、第1号機、第2号機の設置経過と活用報告、川崎フロンターレの中村憲剛選手などが出演したビデオ上映、そして当日参加メンバー全員が舞台に出て私たちの活動をアピールしました。

「低炭素杯」は、低炭素社会を具体化するためのモデルとなる草の根の活動を全国から募集し、プレゼンテーション形式で競い合うわが国唯一2日間の



イベントで、優れた低炭素社会づくり活動を表彰するものです。来年度も川崎から最終出演者が生まれるといいなと思いました。

第3回市民ファンド勉強会の報告

5月18日（金）18時30分～21時てくのかわさき会議室で第3回目の市民ファンド勉強会を、金谷扇さん（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株）を講師に開催しました。

金谷さんは、環境省の委託事業である「平成21年度ファンド設立マニュアル」の作成担当者として、全国の市民ファンドを調査した結果と調査から浮かび上がった課題を中心に話をいただきました。

再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度の骨格が決まったことから、ファンドを活用して市民発電所の設置を計画している近隣都市の方や市民ファンドの支援している方など、多様な参加者（参加者18名）がありました。また、質疑は実践的なものが繰り返されました。

なお、竹村英明さんの講師により、第1回勉強会は2011年10月4日、第2回は、2012年1月16日に開催しています。このような勉強会を通じて、幅広い市民の参加によるエネルギー・環境のあり方を議論し、今後のおひさまプロジェクトの取組の参考に出来ればと思います。（廣瀬健二）



◆1号機見学対応◆



風雨の中、めぐろ環境ナビゲータ育成講座受講者ら約30名を乗せた大型バスがエコ暮らし未来館から国際交流センターに30分遅れて到着。時間延長の説明にもかかわらず、おひさま発電所に高い関心を持たれ、熱心に見学された。（2011年11月19日）

◆2号機見学対応◆ 「第2回あさお青玄まつり」



説明会を2回設定し、寄付者10名を案内した。
（2011年11月6日）



地域の皆さんが大勢参加されており、交流の機会となった。

●かわさき市民共同おひさまプロジェクト会議

第1回:4月25日、第2回:5月30日、第3回:6月20日、第4回:7月19日、第5回:9月12日、第6回:10月17日、第7回:11月14日、第8回:12月13日、第9回:1月13日、第10回:2月6日、第11回:3月8日

●2011年主な活動

- 4月8日 川崎フロンターレ打合せ
- 6月1日 NHK「首都圏ネットワーク」放映
- 6月11日 1号機見学対応（地域環境リーダー）
- 6月17日 CCかわさきエコ会議
- 7月5日 TBS「みのもんたの朝ズバッ！」放映
- 7月21・29日 サンジュニア計測システム設置
- 8月16日 1号機見学対応（目黒区）
- 8月20日 1号機見学対応（倫理宏正会有志）
- 9月1日 韓国富川環境団体市民交流会
- 9月5日 明治大学学生ヒアリング
- 9月7日 2号機見学対応（市議会議員団）
- 9月24日 「なかはらエコカフェ」に出展
- 9月26日 2号機表示看板設置完成
- 9月29日 2号機見学対応（エコバスツアー）
- 10月4日 第1回「市民ファンド勉強会」
- 10月5日 産学公民連携協同研究ヒアリング
- 10月13日 1号機見学対応（市議会議員団）
- 11月6日 2号機見学会・あさお青玄まつり出展
- 11月10日 東京都市大学生ヒアリング
- 11月19日 1号機見学対応（目黒区）
- 12月22日 1号機見学ヒアリング（長崎大学学生）
- 1月6日 1号機見学対応（川女連環境消費部）
- 1月16日 第2回「市民ファンド勉強会」
- 2月18・19日 「低炭素杯2012」出場・シンポジウム
- 2月21日 CCかわさきセンター意見交流会
- 2月24日 3号機可能性ヒアリング（夢パーク）
- 2月27日 2号機1周年設置記念イベント主催
- 3月4日 2号機対応（環境パートナーシップ）
- 3月10日 「エコフェスタ2012」に出展
- 3月23日 3号機可能性ヒアリング（夢パーク）

編集後記

生命の思想家といわれる田中正造の言葉に「真の文明は 山を荒さず 川を荒さず 村を破らず 人を殺さざるべし」を思い出しています。100年前、正造は足尾銅山の公害から人々を救いたいと奔走する中でこの言葉を残しました。3・11を転機として変革を迫られる中で、歴史に学ぼうという声が高まっています。私たちは原発の再稼働のニュースを聞き「真の文明」を追求していきたいと切実に願います。♪レターの発行が滞っていましたがようやく発行出来ました。（飯田和子）

☆イベント案内☆

・11月18日（雨天25日延期）、子ども夢パークにおいて体験型環境学習「自然エネルギーで遊ぼう！」を開催します。イベントのボランティアさんを募集中です。ぜひ、ご参加ください！

<連絡先>

かわさき市民共同おひさまプロジェクト
〒212-0012 川崎市幸区中幸町3-26-24-1211
電話：044-200-4109/FAX:044-556-0585
メールアドレス：ohisama@r2.ucom.ne.jp